

I 大学の現況及び特徴

1 現況

- (1) 大学名 国立大学法人 東北大学
- (2) 所在地 宮城県仙台市
- (3) 学部等の構成

学 部	文学部, 教育学部, 法学部, 経済学部, 理学部, 医学部, 歯学部, 薬学部, 工学部, 農学部
研究科等	文学研究科, 教育学研究科, 法学研究科, 経済学研究科, 理学研究科, 医学系研究科, 歯学研究科, 薬学研究科, 工学研究科, 農学研究科, 国際文化研究科, 情報科学研究科, 生命科学研究科, 環境科学研究科, 教育情報学教育部, 教育情報学研究部
附 置 研究所	金属材料研究所, 加齢医学研究所, 流体科学研究所, 電気通信研究所, 多元物質科学研究所
関 連 施 設	附属図書館, 病院, 東北アジア研究センター, 高等教育開発推進センター, 学術資源研究公開センター, 国際高等研究教育機構, サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター, 未来科学技術共同研究センター, 学際科学国際高等研究センター, 研究教育基盤技術センター, 情報シナジー機構, 産学官連携推進本部, 研究基盤推進本部, 特定領域研究推進支援センター, 環境保全センター, 国際交流センター, 埋蔵文化財調査室, グローバルオペレーションセンター, キャンパス計画室, 先進医工学研究機構

(4) 学生数及び教員数 (平成19年5月1日現在)

学生数：学部 10,913人, 大学院6,895人
 専任教員数： 2,592人
 助手数： 68人

2 特徴

(1) 東北大学の位置づけと歴史的発展

東北大学は、1907年(明治40年)、東京帝国大学、京都帝国大学に続く3番目の帝国大学として創立された。

設立当初から、高等専門学校、高等師範学校の卒業生にも門戸を開き、さらに1913年(大正2年)には日本の国立大学として初めて3名の女子の入学を許可し、「門戸開放」が東北大学の不動の理念であることを示した。

東北帝国大学は、創立に当たって若き俊秀が教授として集まったこともあり、研究者が独創的な研究成果を次々と生み出しながら、それを学生に対する教育にも生かすという「研究第一主義」の精神が確立された。さらに、戦前からいち早く大学発のベンチャー企業を設立して地域産業の育成を図るなど、世界最先端の研究成果を

社会や人々の日常生活に役立てる「実学尊重」の伝統も育んできた。

(2) 東北大学の現況と展望

東北大学は、10 学部、15 大学院研究科等、5 附置研究所、3 専門職大学院に加え、多数の教育研究に関わるセンター等を擁し、その構成員は、教職員約5,000名、学部・大学院学生約17,900名(うち留学生約1,200名)である。

世界をリードする教育・研究拠点を目指す東北大学では、自然科学から人文・社会科学にわたる13の21世紀COEプロジェクトと先進医工学研究機構(TUBERO)のプロジェクトが採択され、それぞれにおいて高い水準の教育・研究活動が展開されている。さらに、これらの実績をもとに、2006年4月には、新たな先端学際融合領域を創生し、将来の世界の学界をリードする人材を養成する目的で、国際高等研究教育院を創設しさらなる発展を目指している。

教育面では、文部科学省が実施している各種大学教育改革支援プログラムにおいて、「特色ある大学教育支援プログラム」3件、「魅力ある大学院教育イニシアティブ」4件、「法科大学院等専門職大学院形成支援プログラム」4件、「派遣型高度人材育成協同プラン」1件、「地域医療等社会的ニーズに対応した質の高い医療人養成プログラム」1件が採択されている。また、2004年4月に発足した法科大学院、公共政策大学院に加え、2005年度に会計大学院が専門職大学院として設置された。2004年10月には高等教育開発推進センターを設立して全学教育の充実を図り、入学選抜、就職支援、学生生活支援等でも積極的に改革を進めている。

研究面では、ISI Essential Science Indicatorの全22分野を例にとると、材料科学、物理学、化学等の分野で世界的に特に高い水準を一貫して維持しており、これらの分野を中心に広い学問領域で世界最先端の研究成果を生み出している。

東北大学は、2007年に創立100周年を迎え、これまでの100年の伝統を基に、教職員・学生一丸となって、卒業生や広く社会の方々とも連携し、世界最高水準の研究・教育拠点としての発展に取り組むとともに、それらを通じて、社会の発展と人類の福祉の実現に貢献するべく、努力を重ねている。